

神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>
神奈川県衛生研究所

第 299 号

平成 29 年 11 月 20 日発行
病原体検出は平成 29 年 9 月分

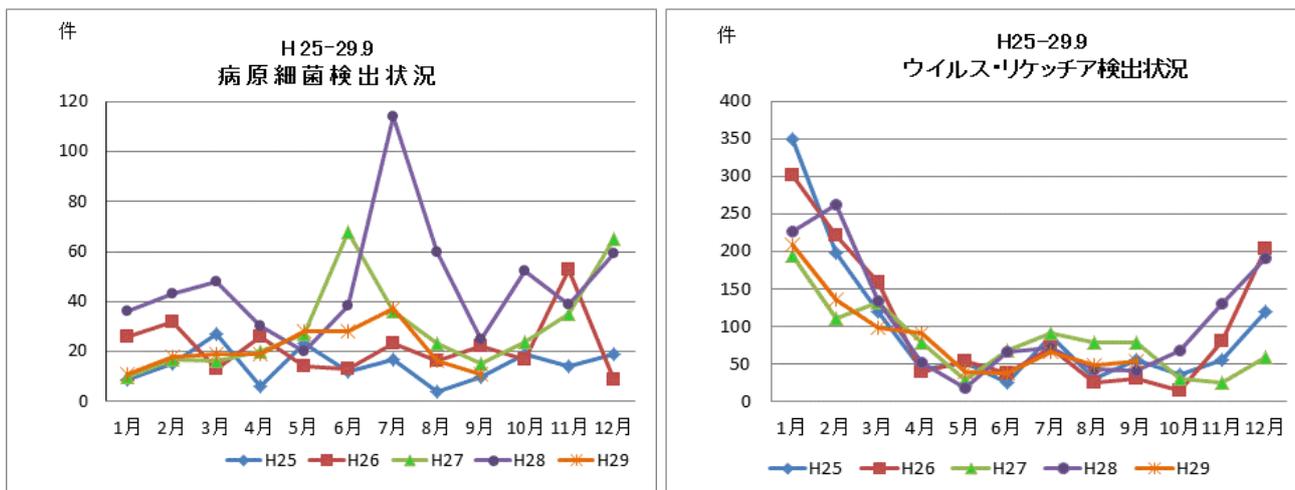
表 1 病原体検出状況(保健所等別)－平成 29 年 9 月

	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査										病原体定點				合 計		
	平塚保健福祉事務所	平塚保健福祉事務所 秦野センター	鎌倉保健福祉事務所	鎌倉保健福祉事務所 三崎センター	小田原保健福祉事務所	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	厚木保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所 大和センター	横須賀市保健所	藤沢市保健所	茅ヶ崎市保健所	計	小児科	インフルエンザ		眼科	基幹
病原細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC)		1					1			2						2
	サルモネラ 07群		2							1	3						3
	エロモナス ハイドロフィラ											1					1
	カンピロバクター ジェジュニ							1			1	1					2
	ウエルシュ菌								1		1						1
	A群溶血レンサ球菌											2					2
	計		3					1	2		1	7	4				11
ウイルス・リケッチア	インフルエンザ AH1 pdm09									1	1				1		2
	インフルエンザ AH3									2	2						2
	コクサッキー A6									2	2	5					7
	コクサッキー A10									3	3						3
	コクサッキー B2								2		2						2
	エコー 6								2		2						2
	エコー 9											2					2
	エンテロ 71											1					1
	ライノ											1					1
	ムンプス											3					3
	アデノ 2											1					1
	アデノ 64											1					1
	サイトメガロ									1	1						1
	ヒトヘルペス 6									4	4					1	5
	ヒトヘルペス 7									1	1	1					2
	ノロ			10					4	1	2	1	18	1			
計		10					4	1	12	9	36	16			2	54	
合 計		3	10				5	3	12	10	43	20			2	65	

※： EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAaggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）

<検出状況>

9月の病原体検出数は合計65件、細菌は11件、ウイルス・リケッチアは54件であった。



- 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が4件、ウイルスが16件、基幹定点からウイルスが2件検出された。
- 保健所管内別の病原体検出状況は表1のとおりである。

表2 病原細菌検出状況(臨床診断別)—平成 29 年 9 月

検査検体数	感染症														（食 有 症 中 苦 情 含 む ） 様	（依 保 菌 類 者 検 査 ） 査	合 計	
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	パ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	百 日 咳	細 菌 性 髄 膜 炎	菌 血 症	ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	レ ジ オ ネ ラ 症	淋 菌 感 染 症				そ の 他
検査検体数					35	4	1	2					2			34	1616	1694
腸管出血性大腸菌(EHEC)					2													2
サルモネラ 07群																3		3
エロモナス ハイドロフィラ							1											1
カンピロバクター ジェジュニ							1									1		2
ウエルシュ菌																1		1
A群溶血レンサ球菌						2												2
計					2	2	2									5		11

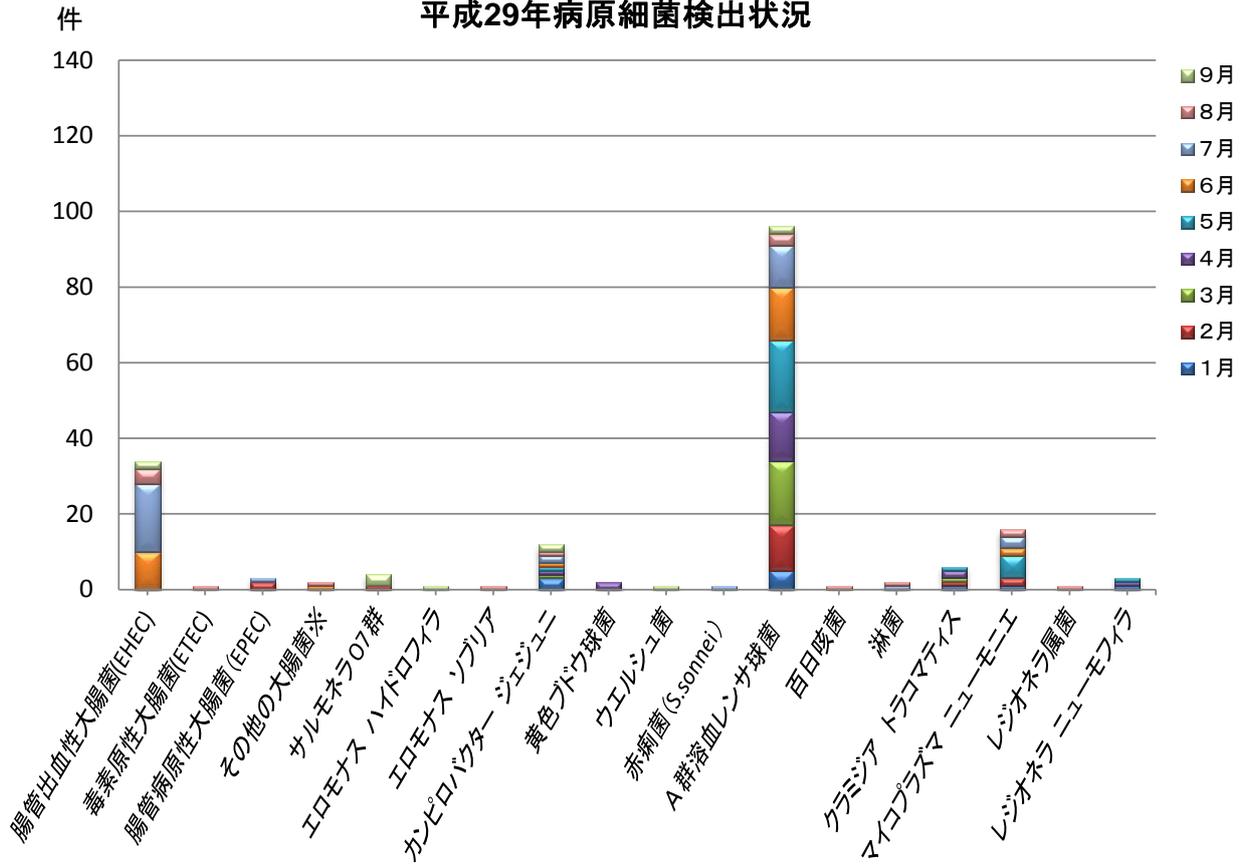
- 腸管出血性大腸菌感染症届出関連に伴う検査で、35検体中2検体から腸管出血性大腸菌 O157(VT2) が検出された。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者 4 検体中 2 検体から、A 群溶血レンサ球菌が検出された。血清型は、T12 が 2 検体であった。
- 感染性胃腸炎患者 1 検体からエロモナス ハイドロフィラ 及びカンピロバクター ジェジュニが同時検出された。
- 食中毒様事例（有症苦情含む）34 検体を検査したところ 5 検体から食中毒菌が検出された。検出菌の内訳は、サルモネラ O7 群が 3 検体、カンピロバクター ジェジュニが 1 検体、ウエルシュ菌（Hobbs の血清型別 UT）が 1 検体であった。

表3 病原細菌検出状況(月別)—平成28年9月～平成29年9月

	9月	10月	11月	12月	平成28年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平成29年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	5	13	14	1	51						10	18	4	2	34
毒素原性大腸菌(ETEC)					2								1		1
腸管病原性大腸菌(EPEC)					4		2					1			3
腸管凝集性大腸菌(EAggEC)			1	1	2										
その他の大腸菌 ※	3	2	1	1	21						1		1		2
サルモネラ O4群					3										
サルモネラ O7群					1		1							3	4
サルモネラ O8群					3										
サルモネラ O13群		1			1										
腸炎ビブリオ					1										
エロモナス ハイドロフィラ					1									1	1
エロモナス ソブリア													1		1
カンピロバクター ジェジュニ	5	5	3	1	68	3		1	1	1	1	2	1	2	12
カンピロバクター コリ		1			2										
黄色ブドウ球菌		1		2	13				2						2
ウエルシュ菌		13	1	1	18									1	1
赤痢菌 (<i>S.sonnei</i>)												1			1
A群溶血レンサ球菌	2	4	12	7	95	5	12	17	13	19	14	11	3	2	96
エンテロкокカス フェシウム	1	1	4	39	122										
百日咳菌				1	2								1		1
淋菌					1							1	1		2
クラミジア トラコマティス		1			6	1	1	1	2	1					6
肺炎球菌					4										
マイコプラズマ ニューモニエ	8	8	2	2	49	1	2			6	2	3	2		16
レジオネラ属菌		1			1								1		1
レジオネラ ニューモフィラ	1	1	1	3	13	1			1	1					3
その他の細菌					80										
合計	25	52	39	59	564	11	18	19	19	28	28	37	16	11	187

※:その他の大腸菌 : EHEC (VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌 (病原性不明なもの)

平成29年病原細菌検出状況



平成28年病原細菌検出状況

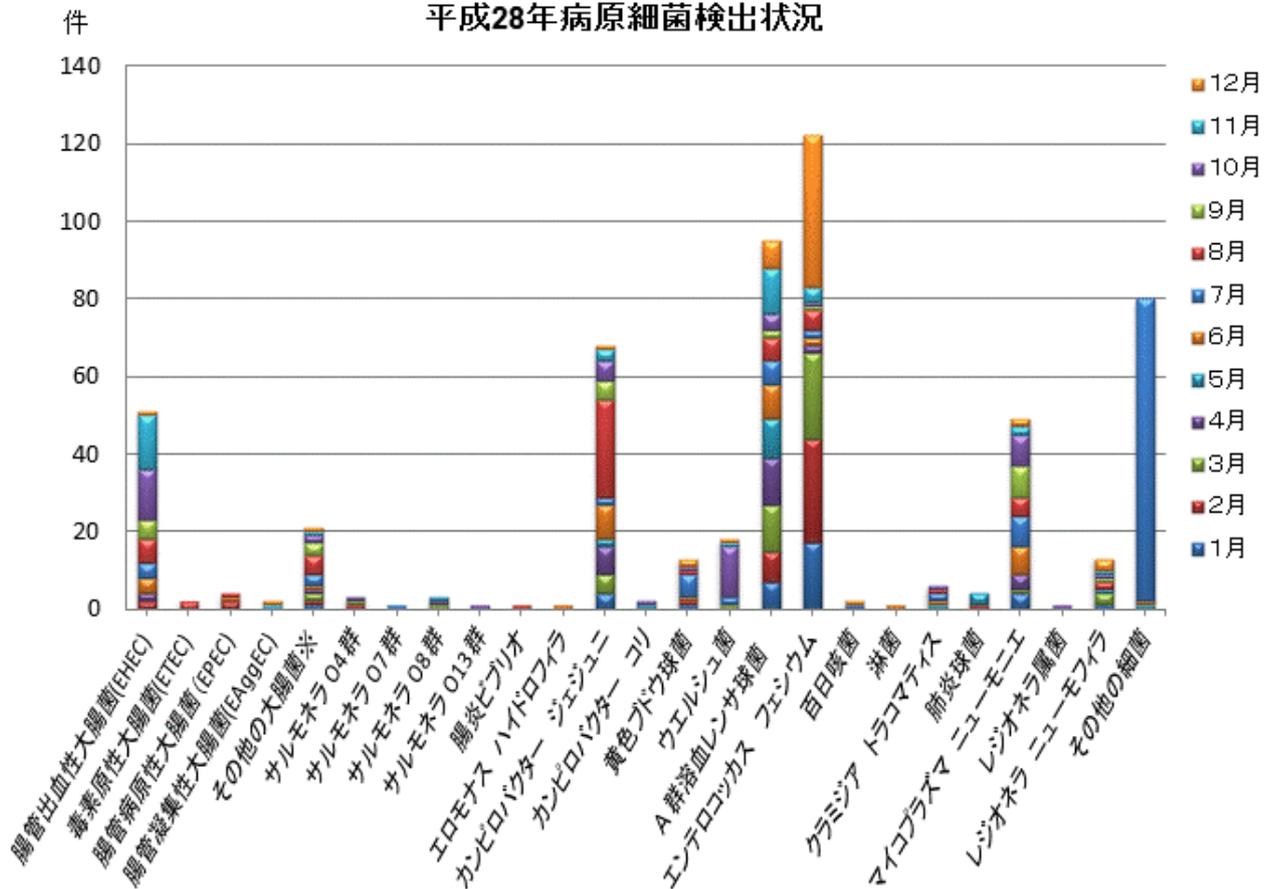


表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断別)―平成29年9月

検査検体数	ウエストナイル熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	急性脳炎	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	感染症			ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	インフルエンザ様	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	その他	(食中毒を含む)	合計
								感染性胃腸炎	手足口病	風しん									
検査検体数			2				2	6	13		4	8	4	4		23	3	34	103
インフルエンザ AH1pdm09													2						2
インフルエンザ AH3													2						2
コクサッキー A6									7										7
コクサッキー A10											3								3
コクサッキー B2															2				2
エコー 6															2				2
エコー 9									1								1		2
エンテロ 71									1										1
ライノ																	1		1
ムンプス												3							3
アデノ 2							1												1
アデノ 64							1												1
サイトメガロ															1				1
ヒトヘルペス 6															5				5
ヒトヘルペス 7															1	1			2
ノロ								3										16	19
計							2	3	9		3		3	4	11	3	16	54	

海外渡航者数は(内数)として記載

- 咽頭結膜熱患者2例からウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス2型が1例、アデノウイルス64型が1例であった。
- 感染性胃腸炎患者6例中3例からノロウイルスが検出された。
- 手足口病患者13例中9例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA6型が7例、エコーウイルス9型が1例、エンテロウイルス71型が1例であった。
- ヘルパンギーナ患者4例中3例からコクサッキーウイルスA10型が検出された。
- 流行性耳下腺炎患者4例中3例からムンプスウイルスが検出された。
- インフルエンザ様患者4例からインフルエンザウイルスが検出された。その内訳は、インフルエンザウイルスAH1pdm09が2例、インフルエンザウイルスAH3型が2例であった。
- 無菌性髄膜炎患者7例(23検体)中6例(10検体)からウイルスが検出された。その内訳は、1例目は髄液からヒトヘルペスウイルス6、2例目は咽頭ぬぐい液からヒトヘルペスウイルス6、3例目は咽頭ぬぐい液からサイトメガロウイルス、4例目は髄液からエコーウイルス6型および咽頭ぬぐい液からエコーウイルス6型とヘルペスウイルス7、5例目は髄液および血清からコクサッキーウイルスB2型、6例目は咽頭ぬぐい液、便および血清からヒトヘルペスウイルス6であった。
- その他ウイルス感染症疑い患者3例からウイルスが検出された。その内訳は、エコーウイルス9型が1例、ライノウイルスが1例、ヒトヘルペスウイルス7が1例であった。
- 食中毒様胃腸炎調査では、便34検体について検査を実施したところ、16検体からノロウイルスが検出された。

表5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別)-平成28年9月～平成29年9月

	9月	10月	11月	12月	平成28年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平成29年累計
インフルエンザ AH1pdm09			1	1	263	1	1	2		1	2		3	2	12
インフルエンザ AH3	5	14	39	93	196	164	98	35	9		2		2	2	312
インフルエンザ B		1		2	166	8	25	37	39	3	1				113
R S			2		2	2									2
コクサッキー A2		2			12								3		3
コクサッキー A4	1				29										
コクサッキー A5					5										
コクサッキー A6	6	14	8		34	6				4	19	44	17	7	97
コクサッキー A10	3	1			24							1	1	3	5
コクサッキー A16	2	1			5								2		2
コクサッキー B1				1	1										
コクサッキー B2														2	2
コクサッキー B3		3			6										
コクサッキー B5	1	4			17										
エコー 3		2	3		5										
エコー 6	1	3		2	6	1								2	3
エコー 9		1	1	1	3									2	2
エコー 11					3										
エコー 18					4										
エンテロ 71					1								3	1	4
A型肝炎				1	2 (1)			1				1	(1)		2 (1)
E型肝炎							1								1
パレコ 3		4			21			3			1	2			6
ライノ	1	2			13	1		1		1	2			1	6
ムンプス	5	1	6		21	4	1		4	2	1	1	3	3	19
麻疹	8				8										
アデノ 1		1			9	1		1					1		3
アデノ 2			1	2	16	1	2	2		3	2	2		1	13
アデノ 3		1	1		11			1		8	2	6	4		21
アデノ 4				1	8	1									1
アデノ 5				1	5										
アデノ 19					1										
アデノ 37					1							1			1
アデノ 41	1	1	1	2	6										
アデノ 46	1				1										
アデノ 54	1			1	5										
アデノ 64														1	1
アデノ(型未決定)									3	2		1	1		7
単純ヘルペス 1									1						1
水痘・帯状疱疹					1						1				1
E B					1						1	1			2
サイトメガロ					3					3				1	4
ヒトヘルペス 6				1	4					2	1		1	5	9
ヒトヘルペス 7					3					1	1		1	2	5
ロ タ			1	3	6	2	1	2	2	1					8
ノ ロ	4	9	68	79	374	16	6	11	30	6	2	6	5	19	101
サ ボ					1							1			1
アストロ					1				4	3					7
デング	1(1)	1(1)			3(3)	1(1)	1(1)	3(2)					2(2)		7(6)
オリエンチア ツツガムシ			1		1										
合計	41 (1)	68 (1)	131	191	1308 (4)	209 (1)	136 (1)	99 (2)	92	40	38	67 (1)	49 (2)	54	784 (7)

海外渡航者数は(内数)として記載

件

平成29年ウイルス・リケッチア検出状況

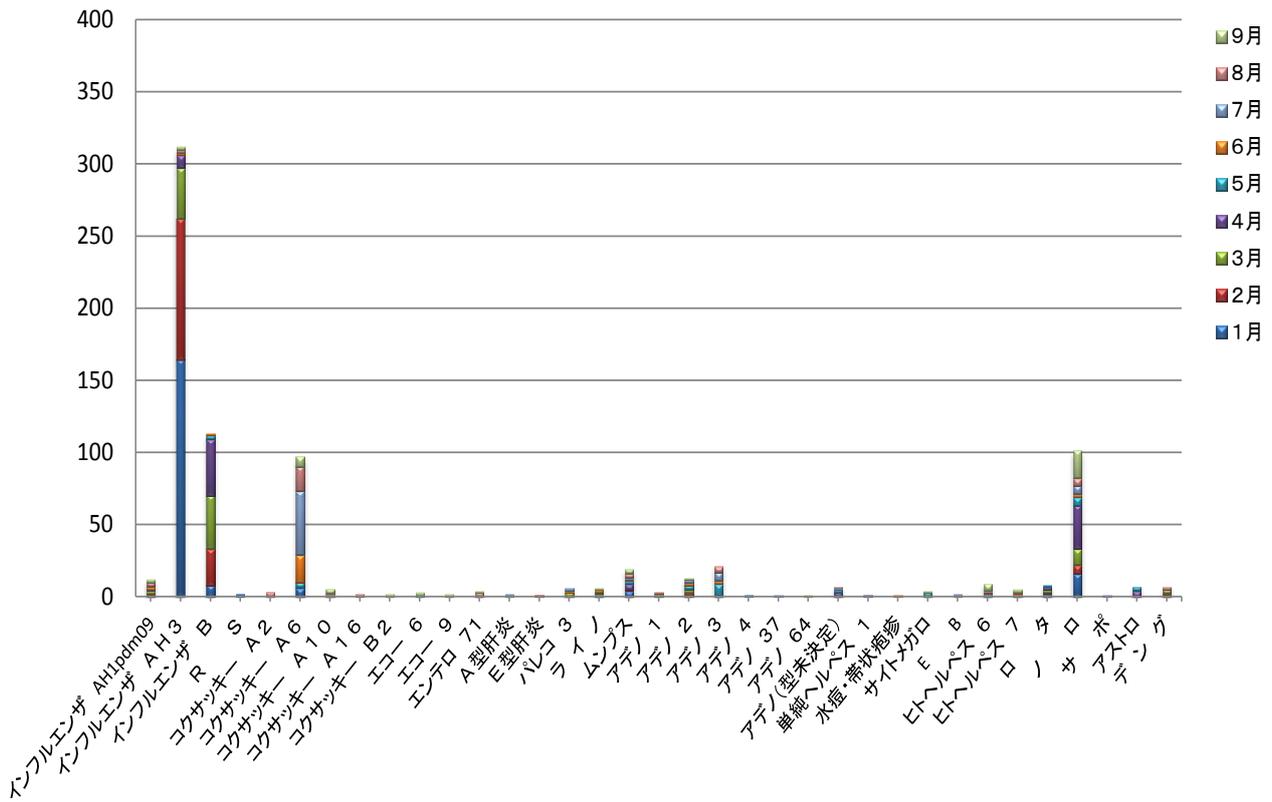


表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況—平成 29 年 9 月

検査検体数	病原細菌検出数および検査検体数													
	食 品						環 境							
	9月			1~9月累計			9月				1~9月累計			
	食中毒等	収去検査	その他	食中毒等	収去検査	その他	海水*	浴槽水等	食中毒等	その他	海水*	浴槽水等	食中毒等	その他
検査検体数		115	108	81	1079	135		9	10	18	64	90	75	280
腸管出血性大腸菌 (EHEC)				1										
その他の大腸菌 ※2					1									3
サルモネラ 04群														
サルモネラ 07群														
サルモネラ 08群														
サルモネラ 09群														
腸炎ビブリオ														
カンピロバクター ジェジュニ														
カンピロバクター コリ														
カンピロバクター ジェジュニ/コリ														
黄色ブドウ球菌		1	7		1	7								
セレウス菌														
レジオネラ属菌								2				3		
レジオネラ ニューモフィラ 1群								1				5		
レジオネラ ニューモフィラ 2群												2		
レジオネラ ニューモフィラ 3群														
レジオネラ ニューモフィラ 4群												3		
レジオネラ ニューモフィラ 5群														
レジオネラ ニューモフィラ 6群								3				5		
レジオネラ ニューモフィラ 7群														
レジオネラ ニューモフィラ 8群														
レジオネラ ニューモフィラ 9群														
レジオネラ ニューモフィラ 10群														
レジオネラ ニューモフィラ 11群														
レジオネラ ニューモフィラ 12群								1				1		
レジオネラ ニューモフィラ 13群														
レジオネラ ゴルマニイ														
レジオネラ ミクダデイ														
レジオネラ デュモフィー														
検出菌計		1	7	1	2	7		7				19		3

※：河川水を含む。

※2： EHEC (VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAaggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）
プール水、エアコンの水等は、環境の「その他」に計上。

- 食品 収去検査 115 検体中 1 検体（ゆでめん）から、また、その他 108 検体中 7 検体（手指のふきとり検体）から黄色ブドウ球菌が検出された。
- 環境 浴槽水等検査 9 検体中、1 検体からレジオネラ属菌が検出され、1 検体からレジオネラ属菌（レジオネラ ロンディニエンシス 1 群）及びレジオネラ ニューモフィラ 6 群が同時検出された。
また、4 検体からレジオネラ ニューモフィラが検出された。血清群の内訳は、1 群が 1 検体、6 群が 2 検体、12 群が 1 検体であった。